

①
つかむ

■生徒の実態を把握する。

アンケート、レディネステスト、学習状況調査の結果等を基に、「生徒の姿チェックシート」を使って、生徒の実態を把握しましょう。

■指導事項（身に付けさせたい力）を明確にする。

学習指導要領に示されている指導事項に準拠して、生徒に身に付けさせたい力は何なのか、明確にしましょう。

■教材を分析する。

教材を分析し、学年間の系統性や単元の関連等を把握しましょう。

②
構想する

■適切な言語活動を設定する。

指導事項（身に付けさせたい力）を身に付けさせるのにふさわしい言語活動を設定しましょう。

■単元全体や1単位時間の指導計画を立てる。

指導事項（身に付けさせたい力）、生徒の実態を踏まえ、どのような手立てを取り入れるか考えながら、指導計画を立てましょう。（「手立てシート」参照）

③
実践する



④
振り返る

■生徒の変容と指導との関連を考える。

生徒の変容を捉えるとともに、効果があった指導、効果が上がらなかった指導やその原因等について振り返りましょう。

①～④の手順を繰り返しながら、授業の質的改善を図っていきましょう。

図 1 授業の質的改善の手順